専門医番号：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

指導医番号（取得の場合のみ記載）：＿＿＿＿＿＿＿＿＿

救急科専門医（指導医）活動休止申請書

※救急科専門医活動休止期間中の指導医活動についても休止となります。
救急科専門医活動休止はせず、指導医資格のみを活動休止する場合は、『日本救急医学会指導医活動休止申請書』を提出してください。

フリガナ	
申請者氏名（署名）	
勤務先	施設名
	科・部名
	〒 TEL：　　FAX：
自宅住所	〒 TEL：
E-mail	
休止理由	

※上記、記載内容は会員データとして登録いたします。（現在すでに登録いただいている内容と相違がある場合には、今回記載いただいた内容に変更いたします）

西暦＿＿＿＿＿年４月１日より翌年３月 31 日まで、

専門医（指導医）活動を休止致しますので、別添理由書を添付し申請します。

西暦　　年　　月　　日提出

※特別な理由（留学、妊娠、出産、育児、病気療養、介護、管理職、災害被災など）のために専門医（指導医）の更新ができない場合、本活動休止申請書と理由書を提出し、担当委員会の審査と承認を経て、専門医（指導医）活動の休止が認められます。

※休止期間は専門医（指導医）**を呼称する事はできません。**

※休止期間に上限はありませんが、１年ごとに休止申請書を理由書と共に提出して、上記委員会の承認を受ける必要があります。

※休止は４月１日～3 月 31 日の区切りです。休止開始は申請書提出年度の４月１日までは遡ることができます。

※専門医（指導医）**活動休止期間の満了や終了は上記委員会への申請と承認が必要です。**その後、専門医（指導医）としての活動が再開できます。休止期間中の業績は更新の単位として認められません。専門医については、活動休止期間を除く前後の合計５年間に規定の 50 単位を取得して次の専門医資格を更新して下さい。指導医については、活動休止期間を除く前後の合計５年間に業績目録において、総点数 55 点以上の取得と日本救急医学会総会参加（3 回以上）の業績をもって、指導医資格を更新してください。

※理由書の例

海外留学の場合は、日本での所属施設長または所属部門長の証明書または留学先責任者の証明書。同行の場合は、留学される方の日本での所属先からの証明書または留学先責任者の証明書。

出産・育児の場合は、出産証明書、診断書、母子健康手帳のいずれか１つのコピー

病気療養・介護の場合は、医師の診断書

大学院に在籍の場合は、大学院の在学証明書

事務所使用欄				
委員長承認	受理書送付	データ変更	専門医委員会	指導医委員会